



サミット開催記念講演会

震災の教訓を未来につなぐ

—観光で学ぶ震災の記憶—

申込み
不要

協力：東北大学 災害科学国際研究所

11月9日(土)～11日(月)に仙台国際センターにて観光レジリエンスサミットが行われることを記念して、市民向け講演会を開催いたします。

サミットや観光レジリエンス、復興に向けた取り組みなどの講演・ブース展示を行いますので、ぜひお気軽にご参加ください。

日時 令和6年 **11月9日** **土**
10:00～14:00

場所 **青葉山公園 仙臺緑彩館**
交流体験ホール

仙台市地下鉄東西線「国際センター」駅 徒歩5分 有料駐車場有
※ご注意※関連イベントで使用するため、カフェは臨時休業です

観光レジリエンスサミットとは？

大規模な自然災害や感染症によるパンデミックが起きた際の観光産業の危機対応などについて議論する国際会議です。

自然災害や新型コロナに直面した観光産業が、どのように対応・回復してきたかを共有し、世界で取り組むべき政策について議論します。

※①と②は同じ発表内容となります。

講演会プログラム

ごあいさつ

10:00～10:10

仙台市観光レジリエンスサミット推進室、東北大学 災害科学国際研究所

観光レジリエンスサミットについて

10:10～10:20

観光庁（予定）

観光レジリエンスサミットや日本における観光レジリエンスの取り組みなどを紹介します。



Tourism Resilience

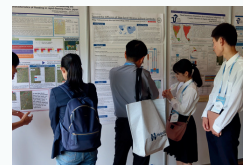
防災ミュージアムの歩き方

①10:25～10:50 ②12:35～13:00

宮城県仙台二華高等学校

二華高の生徒たちが東北各地、また世界中に点在する防災ミュージアムを紹介する本の提案と、それぞれの施設の特徴やその分析についてお話しします。

※フィリピンで開催された世界津波博物館会議でも発表されました。



イメージ

3.11伝承ロードの取り組み

①10:55～11:20 ②13:05～13:35

一般財団法人3.11伝承ロード推進機構

東日本大震災等の災害の記憶や教訓の伝承を生業としている 3.11伝承ロード推進機構における、情報発信、啓発活動、ツーリズム、映像アーカイブ、台湾へのプロモーション活動などの災害伝承の取り組みを紹介します。



展示ブース

- ・民間事業者の復興への協力、防災環境都市づくり、海浜エリアの賑わい、観光と危機管理（仙台市）
- ・3.11伝承ロードの取り組み（(一財)3.11伝承ロード推進機構）
- ・防災ミュージアムの歩き方（宮城県仙台二華高等学校）

定員 各回80名 ※先着順

申込み

事前申込み不要、当日会場にお越しください。

対象 どなたでもご参加いただけます。

参加費

無料

チラシに記載の情報は10月16日時点の情報です。今後内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。

問い合わせ先：仙台市文化観光局観光交流部 観光レジリエンスサミット推進室

電話：022-214-8417（8:30-17:00 土日祝日除く） メールアドレス：bun008730@city.sendai.jp